



株式会社 K e y H o l d e r
2 0 1 9 年 3 月 期 第 2 四 半 期 決 算 説 明 会

2018年11月15日（木）

JASDAQ : 4712

This program is brought to you by Corporate planning division

1	： 2019年3月期 第2四半期 トピックス	P. 3
2	： 2019年3月期 第2四半期連結業績報告	P. 7
3	： 業績詳細報告	P. 11
4	： 総合エンターテインメント事業の方向性と展望	
	ライブ・エンターテインメント部門	P. 19
	テレビ番組制作部門	P. 27
5	： 不動産・商業施設建築事業の方向性と展望	P. 32

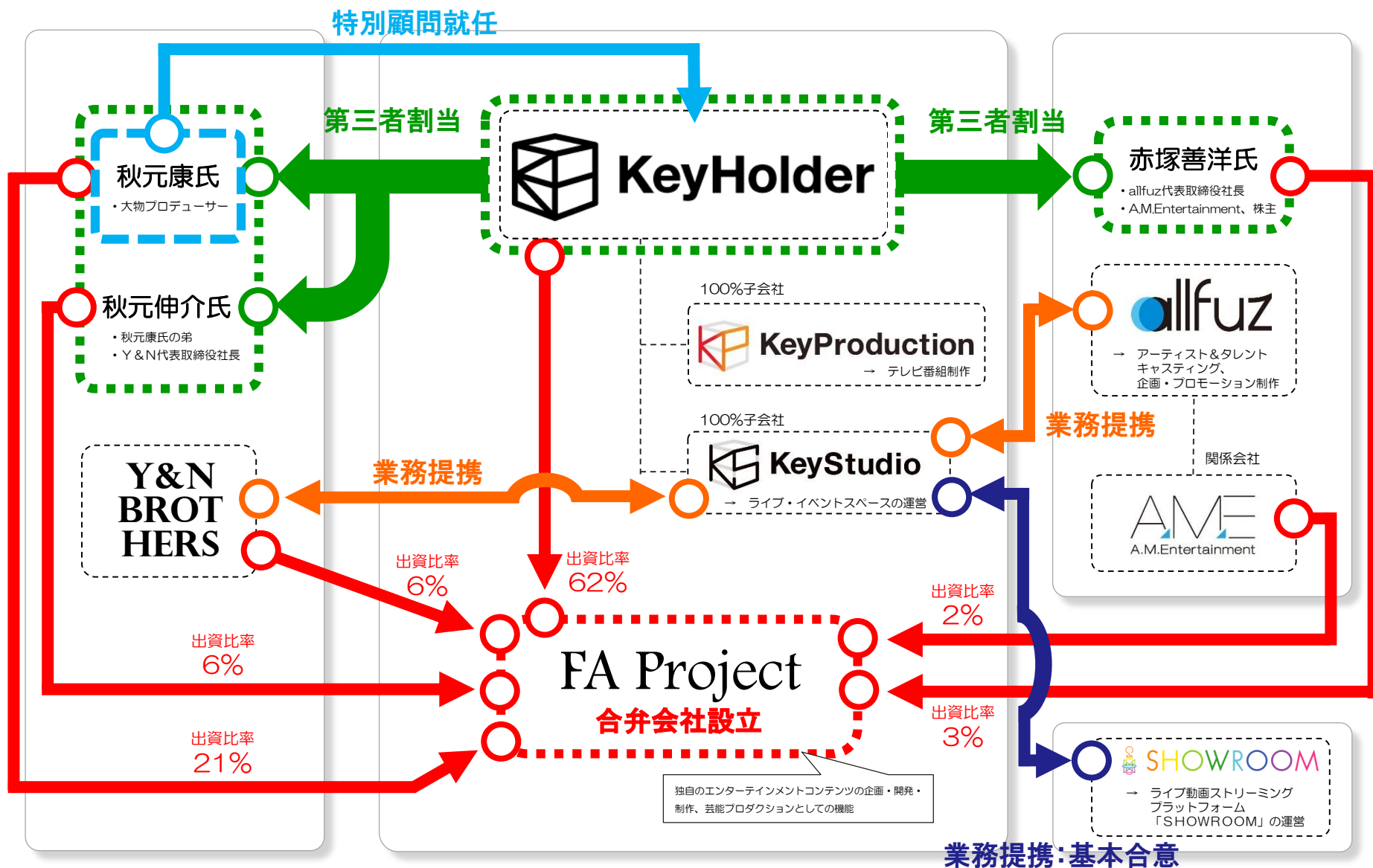
新規事業等

- 【KeyStudio】にて、ライブ・エンタメなどの劇場運営を6月より開始
- 人気バラエティ番組等の【テレビ番組制作】を7月より開始
- アーティストやタレントの育成及びマネージメントなどの企画・開発・制作事業を行う合併会社「株式会社FAProject」を7月に設立

施策等

- 音楽プロデューサーの【秋元康氏】が当社の特別顧問に就任
- 秋元康氏、秋元伸介氏、赤塚善洋氏の3氏に対する第三者割当による新株予約権を発行

1-2：取組内容の枠組み



● 事業承継

「株式会社AKSよりSKE48事業の承継に向けた基本合意書の締結ならびに新規事業開始の検討に関するお知らせ」



● 新規事業

「新たな事業（カラーコンタクトレンズ事業）の開始
に関するお知らせ」



2019年3月期 第2四半期連結業績報告

2-1 : 2019年3月期 第2四半期連結業績 損益計算書 (PL)

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期 (連結)	2019年3月期 第2四半期 (連結)	前期比
	実績	実績	百万円
売上収益	3,790	4,620	+829
営業利益	△110	△108	+2
税引前四半期利益	△152	△159	△7
四半期利益	△166	△143	+23

※ 2018年3月26日：アミューズメント施設運営のアドアーズ株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、当該事業は非継続事業に。

※ IFRSの任意適用により非継続事業を前期実績から除外。

※ 四半期利益におきましては前期の実績から「非継続事業からの四半期利益を除外」して記載しております。

◆ 増収要因

- ・ ライブ・エンタメ、テレビ番組制作事業を開始
- ・ 商業施設建築事業で海外飲食大手の大口案件受注

◆ 減益要因

- ・ 不動産事業の分譲（戸建）部門において不調に推移
- ・ 新規事業への投資 / 新規事業立ち上げに掛かるイニシャルコスト計上

2-2：2019年3月期 第2四半期連結業績 貸借対照表（BS）

（単位：百万円）

資産の部				負債の部			
	2018年3月期 （連結）	2019年3月期 第2四半期 （連結）	前期比		2018年3月期 （連結）	2019年3月期 第2四半期 （連結）	前期比
流動資産	15,193	17,346	+2,153	流動負債	3,249	4,972	+1,723
現金及び預金	9,653	8,454	△1,199	非流動負債	2,508	4,217	+1,709
その他	5,540	8,892	+3,352	負債合計	5,757	9,189	+3,432
非流動資産	1,327	2,353	+1,026	資本の部			
有形固定資産	86	152	+66	株主資本	10,735	10,454	△281
無形固定資産	298	306	+8	その他の資本の 構成要素等	27	55	+28
投資その他資産	943	1,895	+952	資本合計	10,763	10,510	△253
資産合計	16,520	19,699	+3,178	負債及び資本合計			
				負債及び 資本合計	16,520	19,699	+3,178

① テレビ番組制作事業の譲受による支出
キーノートの棚卸資産の増加

② キーノートの棚卸資産の増加に伴う借入金の増加

2-3：2019年3月期 第2四半期連結業績 キャッシュフロー（CF）

（単位：百万円）

	2018年3月期 第2四半期 （連結）	2019年3月期 第2四半期 （連結）
営業キャッシュフロー	811	△2,396
税引前四半期利益	△152	△159
減価償却費	412	45
営業債権等の増減（△は増加）	173	△148
棚卸資産の増減（△は増加）	203	△2,172
営業債務等の増減（△は減少）	△197	909
その他	373	△871
投資キャッシュフロー	△293	△1,078
財務キャッシュフロー	345	2,274
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,185	8,454

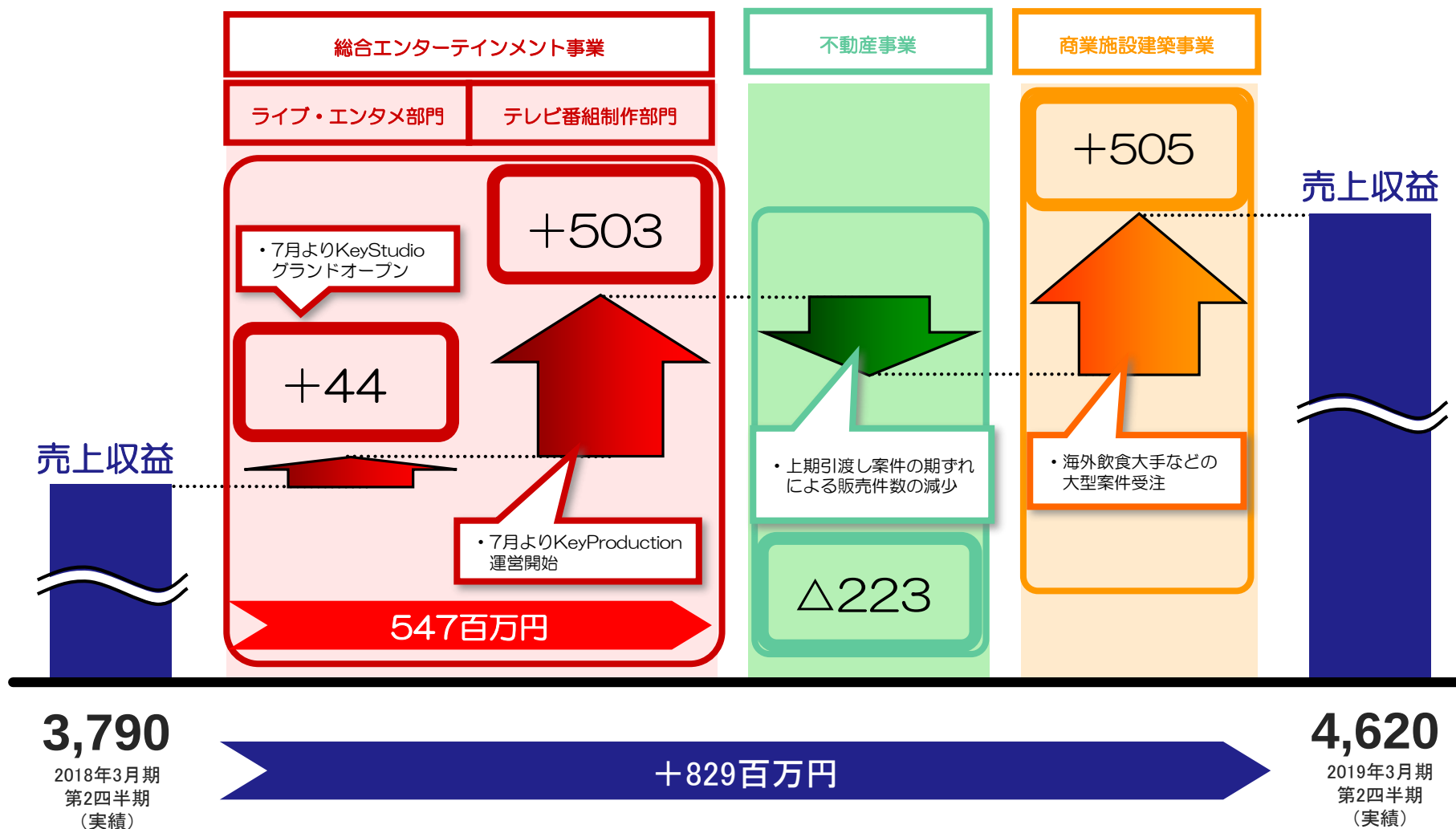
- ① 棚卸資産の増加
- ② テレビ番組制作事業の譲受による支出
- ③ 借入金の増加

業績詳細報告

3-1：業績詳細報告 売上収益増減要因

(单位：百万円)

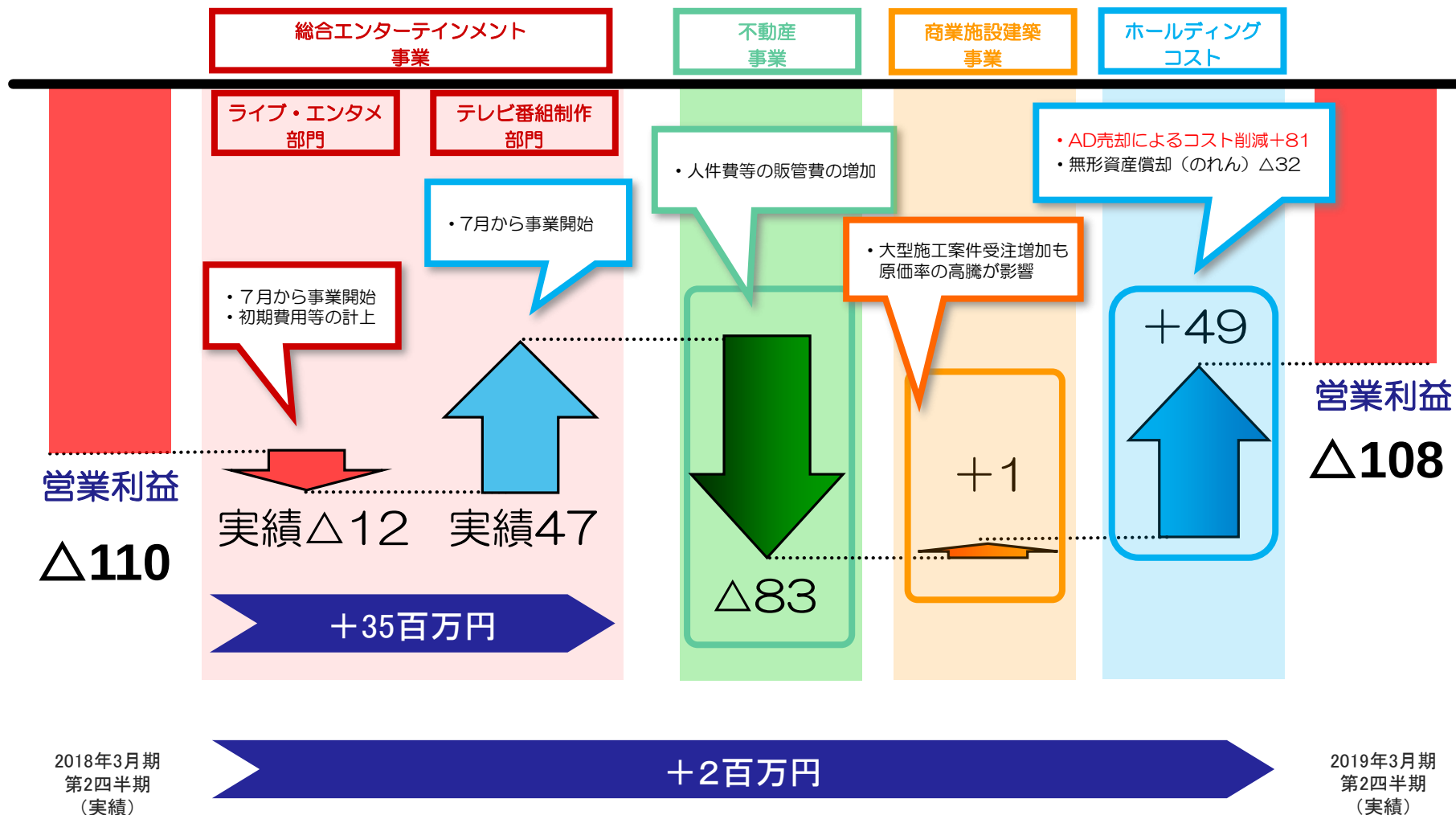
壳上收益 前期比



3-2：業績詳細報告 営業利益増減要因

(単位：百万円)

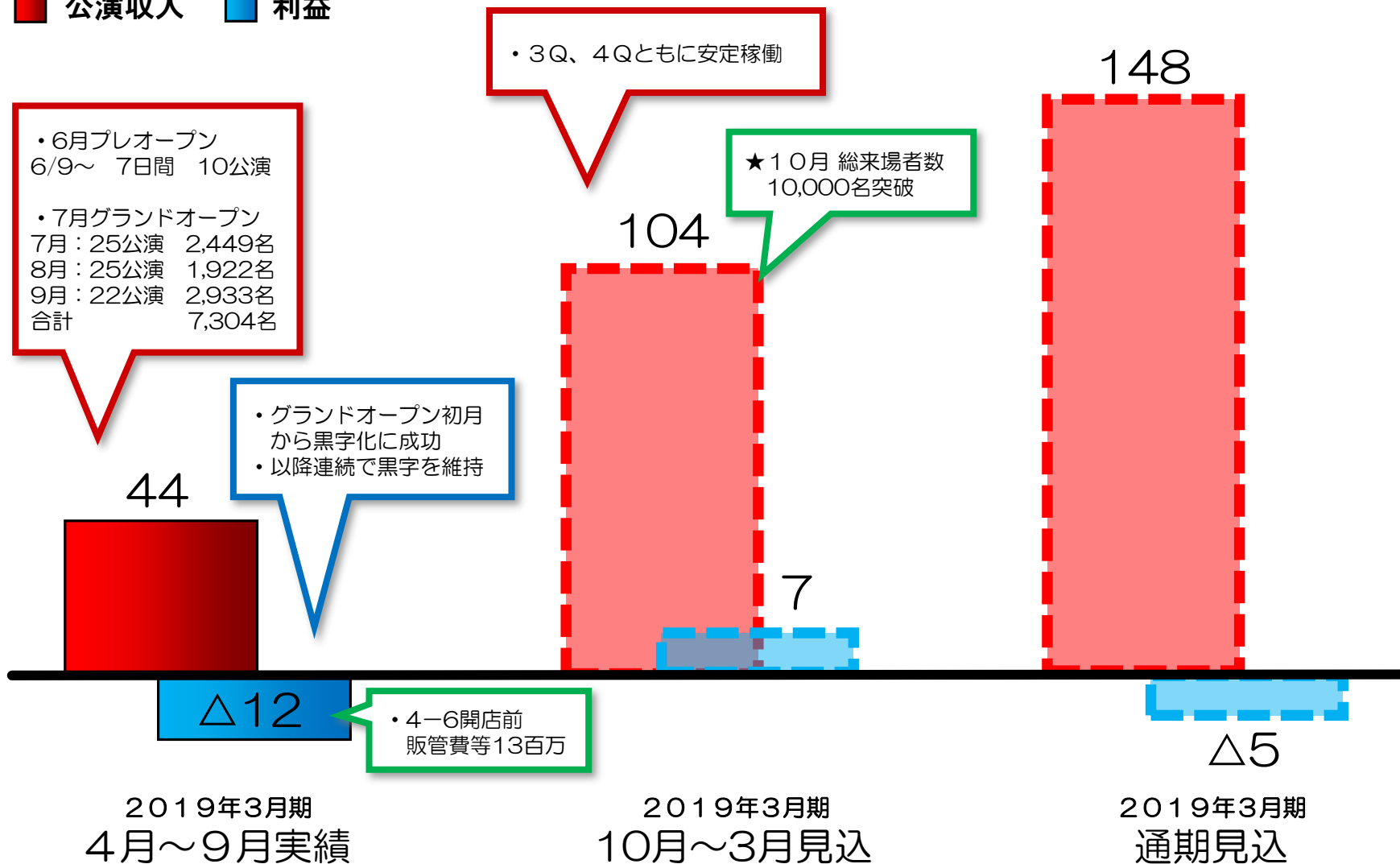
営業利益 前期比



3-3：セグメント別業績報告 ～ライブ・エンターテインメント部門・KeyStudio～

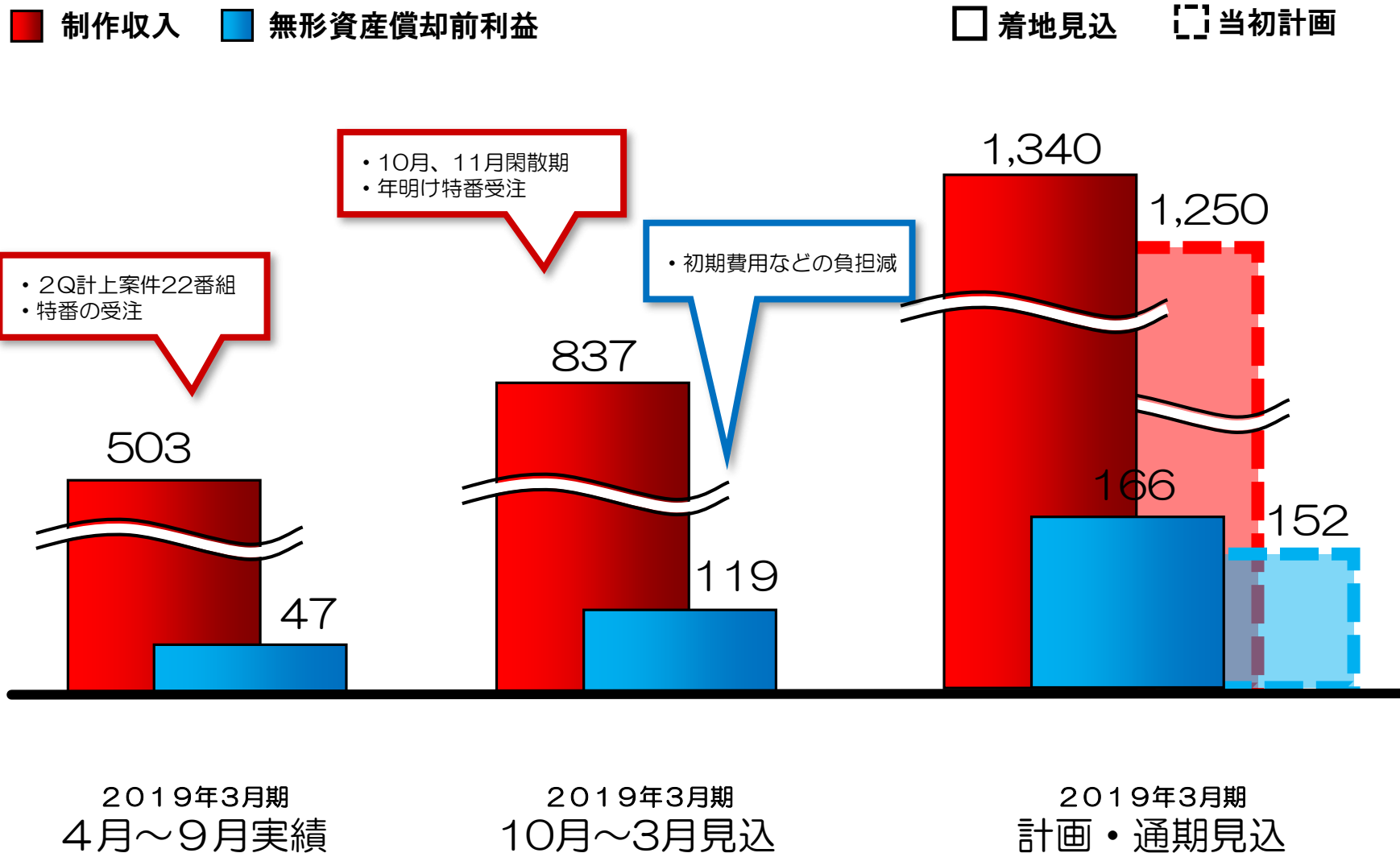
(単位：百万円)

■ 公演収入 ■ 利益



3-4：セグメント別業績報告 ～テレビ番組制作部門・KeyProduction～

(単位：百万円)



3-5：セグメント別業績報告 ～不動産事業・商業施設建築事業～

(単位：百万円)

不動産事業及び商業施設建築事業（KeyHolder、キーノート）

	2018年3月期 第2四半期 (連結)	2019年3月期 第2四半期 (連結)	前期比
	実績	実績	(百万円)
売上収益	3,789	4,072	+283
不動産事業	2,816	2,593	△223
商業施設建築事業	973	1,479	+505
セグメント利益	204	121	△83
不動産事業	147	63	△83
商業施設建築事業	57	58	+1

- ◆ 不動産事業減収・減益要因
 - ・ 上期引渡し案件の期ずれによる販売件数の減少
 - ・ 原価、販管費の増加による利益率の低下
- ◆ 商業施設建築事業増収・増益要因
 - ・ 海外飲食大手などからの大型施工案件の獲得
 - ・ 利益率の高いデザイン案件が減少

3-6：セグメント別業績報告 ～不動産事業～

不動産事業（分譲部門、賃貸部門）

（単位：百万円）

	2018年3月期 第2四半期 （連結）	2019年3月期 第2四半期 （連結）	前期比
	実績	実績	（百万円）
売上収益	2,816	2,593	△223
分譲部門	2,696	2,485	△211
賃貸部門	120	108	△12
セグメント利益	147	63	△83
分譲部門	72	20	△52
賃貸部門	75	43	△32

◆ 分譲部門減収・減益要因

- ・ 上期引渡し案件の期ずれによる販売件数の減少
- ・ 原価、販管費の増加による利益率の低下

◆ 賃貸部門減収・減益要因

- ・ 前期収益不動産売却に伴う賃貸収入の減少

3-7：セグメント別業績報告 ～商業施設建築事業～

商業施設建築事業

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期 (連結)	2019年3月期 第2四半期 (連結)	前期比
	実績	実績	(百万円)
売上収益	973	1,479	+505
粗利益	134	157	+23
%	13.8%	10.6%	△3.2%
セグメント利益	57	58	+1
%	5.9%	3.9%	△2.0%

- ◆ 海外飲食大手などの設計・デザイン案件獲得
- ◆ 原価率の高い大型施工案件が増加 / 利益率の高いデザイン案件の減少により利益率が悪化

- ・ 2019年3月期 第2四半期末時点受注件数

97 件 / 年



海底撈様 北京新店内観



4-1：ライブ・エンターテインメント部門の状況及び方向性 ①

KeyStudioの現在までの流れ

- 4月：中旬から本格的な準備を開始
- 6月：業界最速ともいえる準備期間約1か月半でプレオープン
- 7月：グランドオープン初月では、30日中21日25公演を実現
（初月から単月黒字化に成功）
- 9月：3か月継続して単月黒字を継続・維持



4-2：ライブ・エンターテインメント部門の状況及び方向性 ②

エンタメ業界への影響

- 世界最大の乗降客数を誇る、新宿駅前という立地でのライブ事業
- 秋元康氏プロデュースの4ドル50セントなど、大型の定期公演を開催
- インディーズの若手や新人アーティストからも支持される



4-3：ライブ・エンターテインメント部門の状況及び方向性 ③

エンタメ大手企業

4ドル50セント



アミューズ

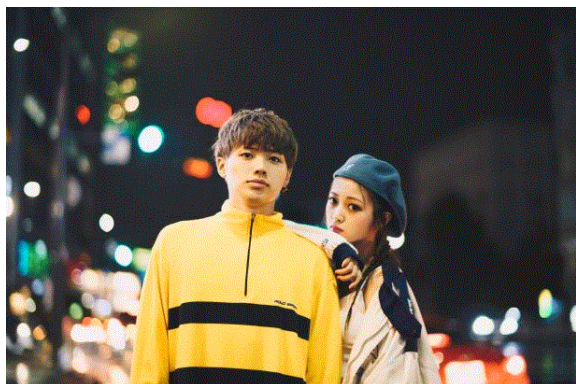


キングレコード



新人アーティスト

まるりとりゅうが



ジュノンボーイ

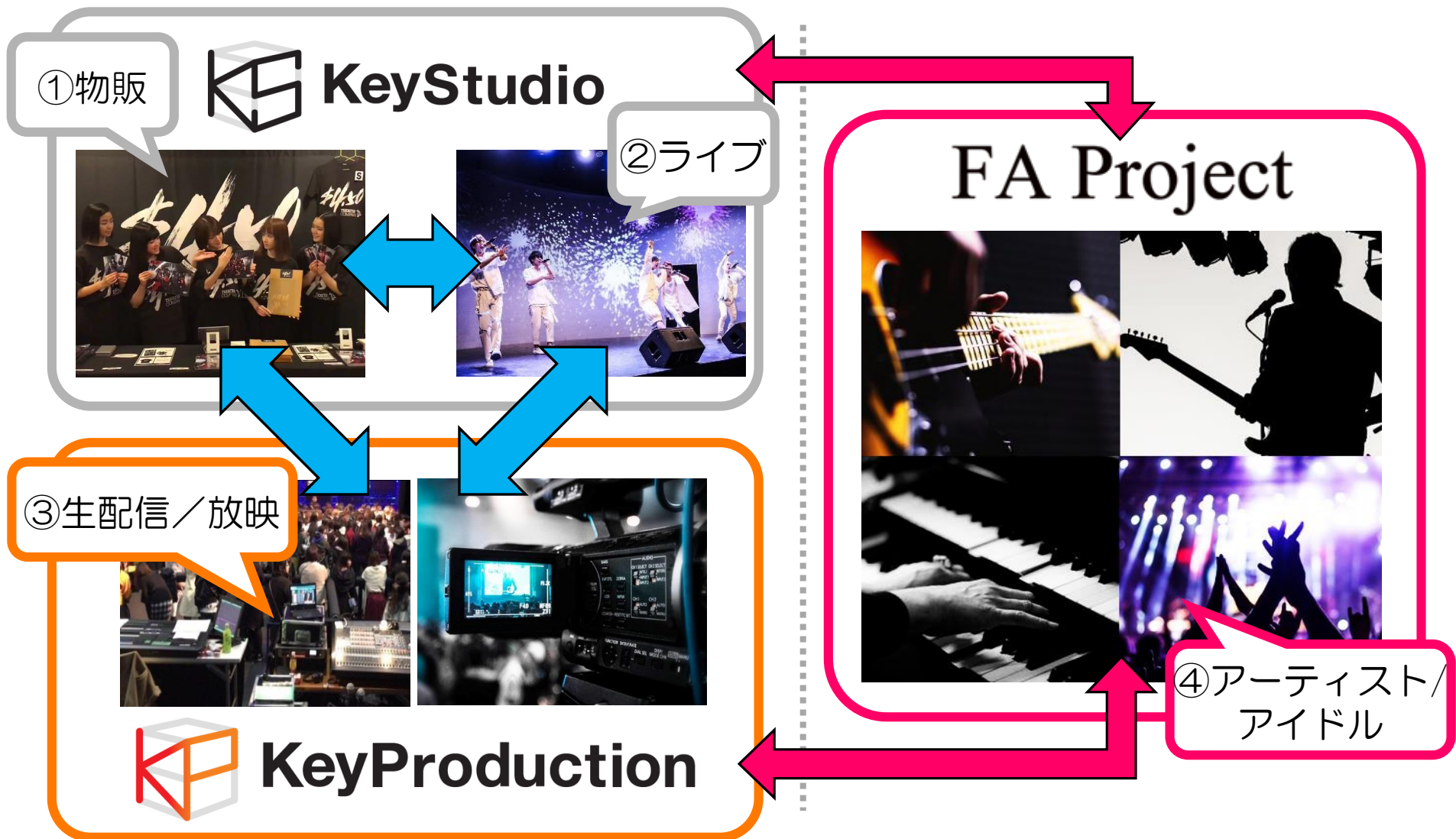


宴



4-4：ライブ・エンターテインメント部門の状況及び方向性 ④

KeyStudioを活用したビジネスモデル



4-5：ライブ・エンターテインメント部門の状況及び方向性 ⑤

コンテンツ開発から総合的なマネタイズまでのシステムを構築



4-6：ライブ・エンターテインメント部門の状況及び方向性 ⑥

コンテンツ開発からの新規事業

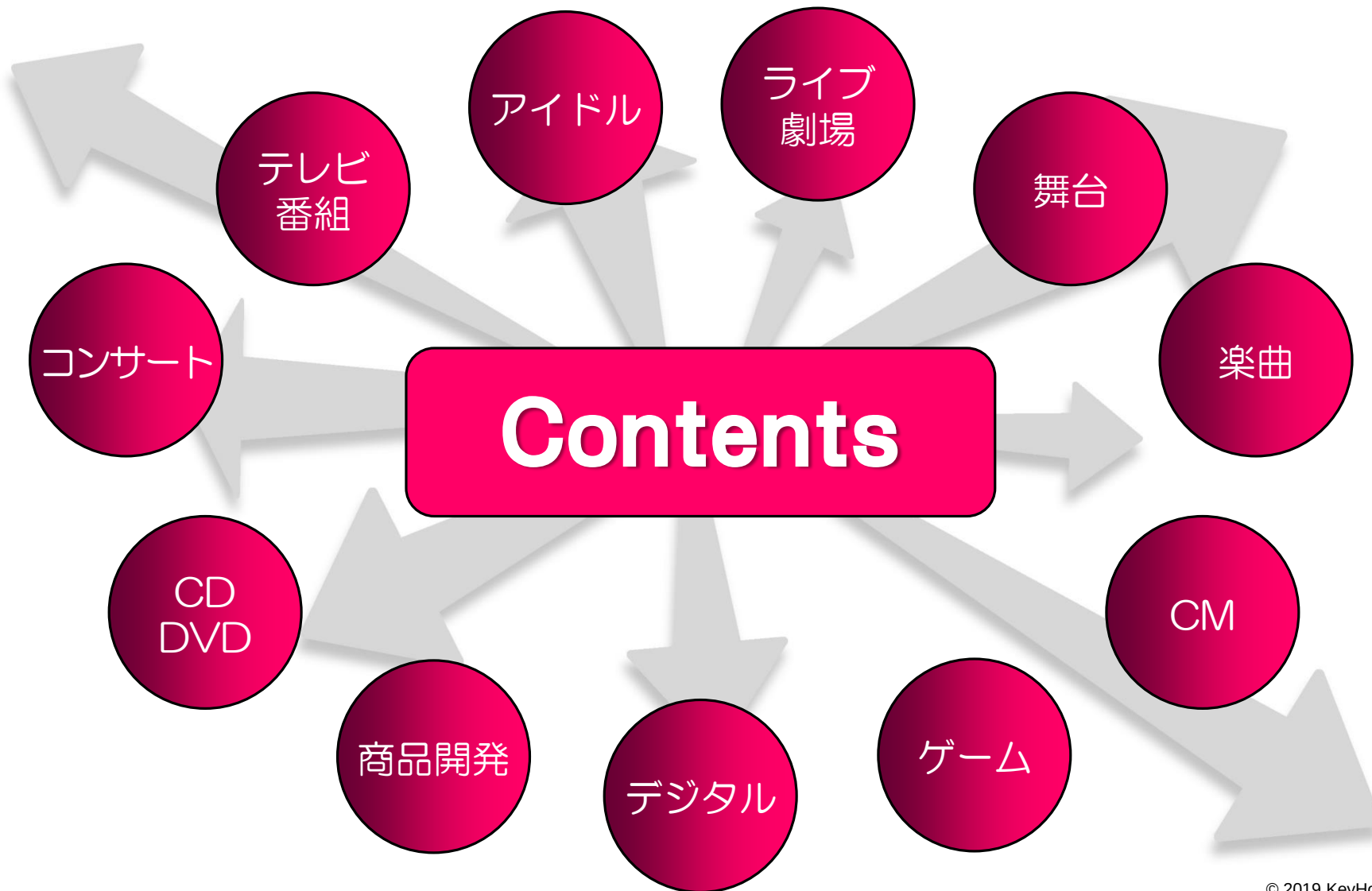


「新たな事業（カラーコンタクトレンズ事業）の開始に関するお知らせ」



4-7：ライブ・エンターテインメント部門の状況及び方向性 ⑦

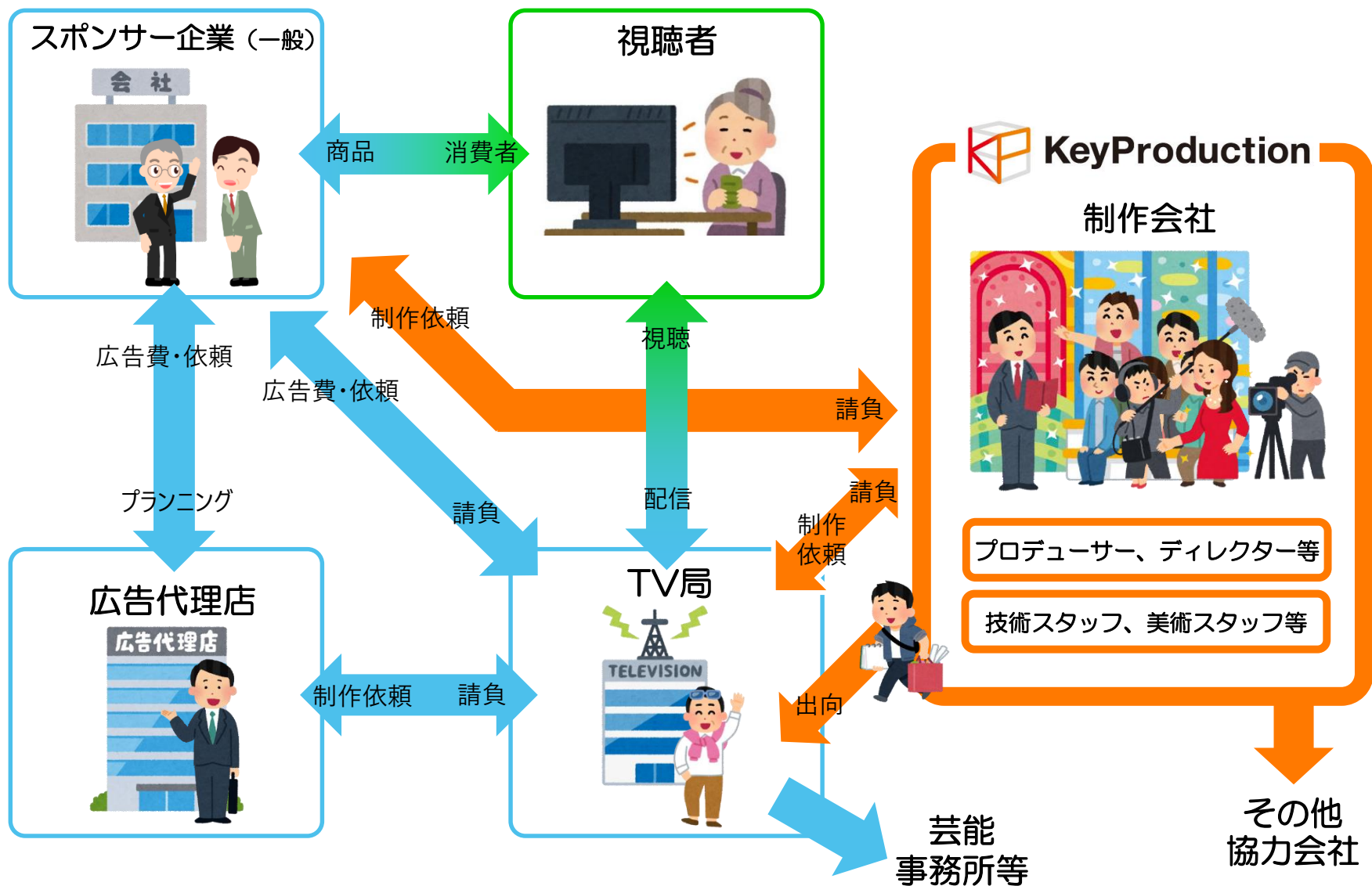
コンテンツ開発から総合的なマネタイズまでのシステムを構築





KeyProduction

4-8：テレビ番組制作に関する業界関係図



4-9：現状と課題

現状

課題

外部
環境

①市場のニーズと制作者側の制作
する、あるいは制作したい番組
との隔たり

②若者のテレビ離れにより、
番組広告が売れなくなっている

↓
制作費が削減される

≡
安定市場の事業だとは言えなく
なっている

内部
環境

- ・放送業界全体の人材不足
特にADは目指す若い人材が
少ないため、各社争奪戦

①市場ニーズの把握

②従来のビジネスモデル
からの脱却

③インターネットとの差別化

- ・業務の細分化による分業
- ・働きやすい環境づくり

4-10：テレビ番組制作事例紹介

視聴率：11～12.0%
火曜日3時間特番で極めて高い視聴率



テレビ朝日（地上波）
火曜日特番
出演者：林修/伊集院光/澤部佑



視聴率：11～12.0%
火曜日放送の「全局中」
「全時間帯」で上位3位までの
視聴率を獲得

TBS（地上波）
毎週火曜日20:57～22:00
出演者：マッコ・デラックス

視聴率：2.0～3.0%
毎日コンスタントに視聴率維持



TBS（地上波）
毎週月～木曜日9:55～10:25
出演者：北斗晶

視聴率：2.0～2.5%
深夜枠の中で高いネームバリューを維持



テレビ朝日（地上波）
毎週月～木曜日：0:50～01:20
出演者：おねがい戦士

- 制作番組の安定受注
- 新進配信媒体事業者からの制作受注
- 得意分野の異なる映像事業者との事業協力等
- コスト意識の向上
- エンターテインメント事業の開発・育成・推進



5-1：事例紹介（不動産戸建）



※分譲住宅 外観

5-2：事例紹介（不動産戸建）



社内手続きを含めた販売体制の強化

- 大阪支店の統合
 - ・ 情報の共有による効率化
 - ・ 固定費等の削減
- 優良案件に注力
 - ・ 利益率（12%～）の高い物件などを厳選して取得する
- 回転率の向上
 - ・ 工程管理の強化を図り販売期間の短縮化
 - ・ 販売仲介会社との連携強化



5-4：事例紹介（商業施設）



※商業施設 海底捞様 外観

5-5：事例紹介（商業施設）



※商業施設 海底撈樣 内観

海外案件の強化及びルーツである商業施設の強化

- 海外飲食大手との取り組みを強化
 - ・ 海底撈様案件 国内2号店～5号店全てを受注
(新宿歌舞伎町店、海浜幕張店、心斎橋店、三ノ宮店)
 - ・ その他の海外飲食大手からの受注
- ホール施設の受注強化
 - ・ 新規出店案件を受注
 - ・ 北九州の大型案件の受注に向けた取り組み強化
- その他新規商業施設案件
 - ・ ホットヨガスタジオ
 - ・ フィットネススタジオ
 - ・ カプセルホテル
 - ・ カラオケ



海底楼様 内観



FA Project



将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性がありますことをご承知おきください。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

当社に関する詳しい情報は、HPをご覧ください。

<http://www.keyholder.co.jp/>

本資料の問い合わせ先：株式会社KeyHolder 経営企画部 IR・広報担当 Tel : 03-5843-8888 E-Mail IR@keyholder.co.jp